

## 日本地雷処理を支援する会（JMAS） 地雷除去サイト閉所式

平成29年（2017年）3月22日、認定特定NPO法人「日本地雷処理を支援する会（JMAS）」主催の「JMAS地雷除去サイト（ベンゴ州カシト市マブバス地区）閉所式」が行われました。閉所式には、ベンゴ州副知事のジョゼ・アルマンド・カンポス・マジョール氏やアンゴラ国家地雷除去院（INAD）職員等のアンゴラ側来賓に加え、コマツや豊田通商（株）、住友商事（株）等の日本企業の幹部など約50名が出席しました。

JMASによるアンゴラでの活動は、2008年6月から2017年5月までの約9年間にわたり、ベンゴ州カシト市マブバス地区において総計325ヘクタールの地域に埋蔵されていた地雷を除去しただけでなく、地雷除去を完了した土地での道路・グラウンドの整備や給水タンクの設置、さらには地雷危険回避教育を実施する等、幅広い分野に及ぶものであり、同閉所式においてINADをはじめとするアンゴラ政府機関やベンゴ州政府等から深い謝意が表されました。



折木JMAS会長による開式の辞



澤田大使によるスピーチ



閉所式終了後の集合撮影